

令和5年9月29日

1年1組 農業と環境
バインダーにて稲刈りおよびおだかけの実習

9月26日(火)9:20～11:20に、農業と環境の実習にて、一人ずつバインダーを操作して、手植えで行った「マンゲツモチ」の稲刈りを行いました。バインダーを操作し、ある程度まとまったイネが排出されて、おだかけされていきました。

おだかけされたお米は約2週間～1ヶ月ほど天日で干して乾燥させます。その後もみすりなどを行って、やっとお米を食べることができます。生徒の皆さんは初めての体験で緊張もありましたが、慣れてくると一人前に操作することができました。一人一人が稲刈り、運搬、おだかけと役割をきっちり果たし、農業を行ううえでとても大切である仲間と協力をしながら実習を達成することができました。

感想としては「今は機械が主流となっていて昔ながらのやり方だと思うが、愛情がこもって美味しくなりそう。」や、「食べる日が待ち遠しいです。」という声がありました。頑張った分おいしいお米が期待できそうです。



① バインダーによる稲刈りの様子



② たくさんイネを運んでいます



③刈り取りされたイネはおだかけされました